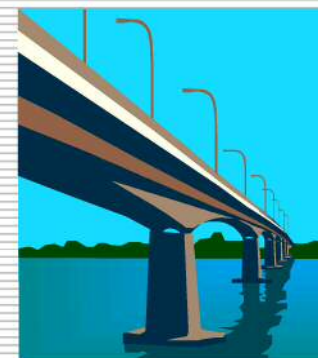


個別施設計画作成に向けて



長野市 総務部 公有財産活用局
公共施設マネジメント推進課

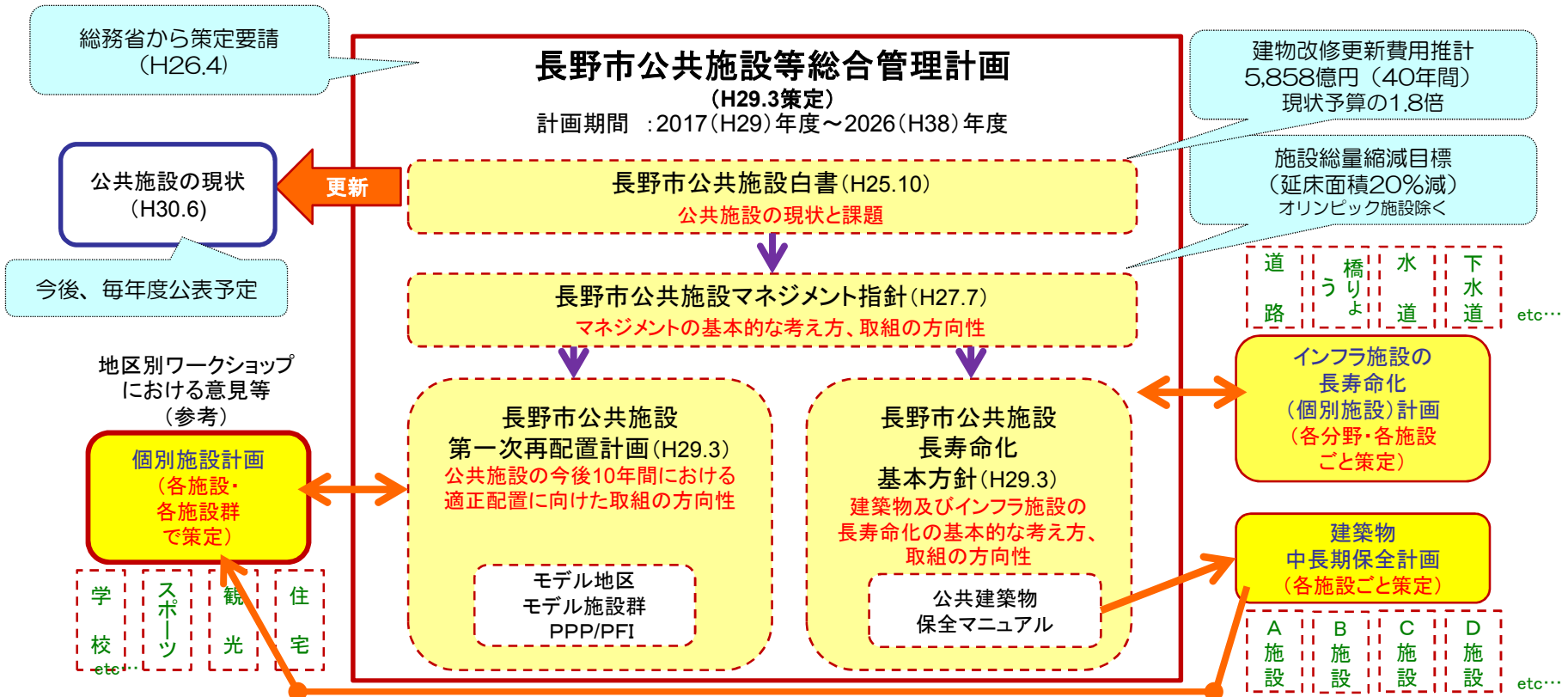
1 総合管理計画と個別施設計画

◇ 平成29年3月「長野市公共施設等総合管理計画」を策定

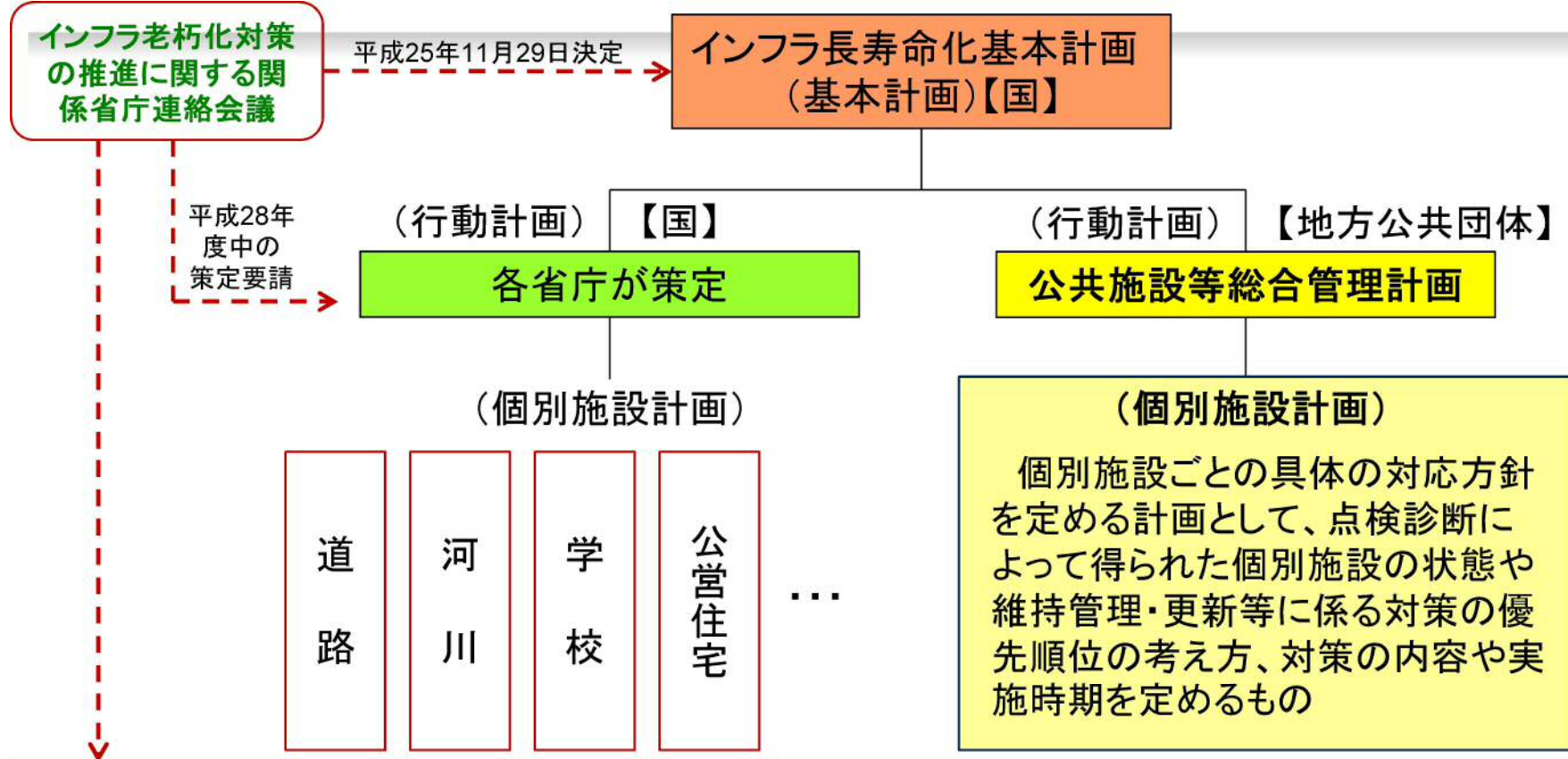
長寿命化基本方針（事後保全から計画的予防保全への転換）、公共施設再配置計画（第一次）を示し、「市民合意形成」「民間活力の導入」等に取り組みながら、公共施設マネジメントの推進を図る

◇ 平成32年度（2020年度）までに「個別施設計画」を策定

公共施設等総合管理計画に基づき、施設分野別（小学校・市営住宅等）の、具体の対応方針を定める計画として、点検・診断によって得られた個別施設の状態や、維持管理・更新等に係る対策の優先順位の考え方、対策の内容や実施時期を定める



2 個別施設計画の位置づけ



(平成29年3月23日)

◇各府省庁は、自ら「個別施設計画」を策定するとともに、地方公共団体など「個別施設計画」を策定すべき主体に対し、平成32年度までのできるだけ早い時期に個別施設計画を策定するよう、所要の働きかけを行う。また地方公共団体等に対し、計画策定・推進上の留意点・支援策を周知する。

学校、市営住宅など所管省庁から策定を求められている施設群においては、その指示によって策定する。省庁から指示のない施設群においても、基本的にすべて策定する。策定期間は平成32年度までのできるだけ早い時期とする。

3 個別施設計画の記載事項 (インフラ長寿命化基本計画より)

公共施設等の管理者は、各施設の特長や維持管理・更新等に係る取組状況を踏まえ、以下に示す記載事項を基本とし、メンテナンスサイクルの核となる計画をできるだけ早期に策定し、計画に基づき戦略的な維持管理・更新等を推進する。

①対象施設

行動計画において策定することとした施設を対象とする。

個別施設のメンテナンスサイクルを計画的に実行する上で最も効率的・効果的な計画策定の単位(事業ごとの分類(道路・下水道等))や構造物の分類(橋りょう・トンネル・管路等)を設定し、その単位毎に計画を策定する。

②計画期間

定期点検サイクル等を考慮して計画期間を設定し、点検結果や経年劣化等を踏まえて適宜計画を更新する。

インフラ長寿命化基本計画に示す取組を通じ、計画期間の長期化を図り、中長期的な維持管理・更新等に係るコストの見通し精度向上を図る。

③対策の優先順位の考え方

個別施設の状態(劣化・損傷の状況や要因等)の他、当該施設の役割、機能、利用状況、重要性など、対策を実施する際に考慮すべき事項を設定し、優先順位の考え方を明確にする。

④個別施設の状態等

点検・診断によって得られた個別施設の状態について施設ごとに整理する。点検・診断を未実施の施設については、点検実施時期を明記する。また、③で明らかにした事項のうち必要な情報を整理する。

⑤対策内容と実施時期

③、④をふまえ、次回の点検・診断や修繕・更新、さらには更新時を捉えた「機能移転・用途変更、複合化・多機能化、廃止・撤去、耐震化等」の必要な対策について、講ずる措置の内容や実施時期を施設毎に整理する。

⑥対策費用

計画期間内に要する対策費用の概算を整理する。

4-1 本市個別施設計画(建築物)策定方針の概要(1)

①対象施設

- ◆ すべての公共施設(建築物)を対象とする
※面積が小さいなど、将来負担の見込みが少ない場合、計算に含めないなど異なる取り扱いも可能とする
- ◆ インフラは別途国の方針により策定(本方針の対象外)
- ◆ 中分類ごとに策定する

例)

| | 大分類 | 中分類(策定単位) |
|--|-----------|----------------------------|
| | 学校教育施設 | <u>小学校</u> 、 <u>中学校</u> など |
| | 生涯学習・文化施設 | <u>公民館</u> 、 <u>集会所</u> など |

※複数の所属にまたがる場合も一本化する

※起債のため、前倒しで策定するものは細分化する

例) 高齢者福祉施設(中分類) → 老人憩の家 など

②計画期間

- ◆ 策定年度から10年間
- ◆ 1～5年目を前期、6年目以降を後期
- ◆ 5年を目安に、改訂を行う ※進捗管理は毎年度

③対策の優先 順位の考え方 (個別施設の現 状と課題)

- ◆ 施設の設置目的、役割、課題
- ◆ 老朽化の状況、利用状況、コスト
- ◆ 施設の重要性、地域特性
- ◆ ワークショップ等の意見・提案 など

4-2 本市個別施設計画(建築物)策定方針の概要(2)

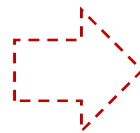
③対策の優先順位 の考え方 (考慮すべき事 項、考え方)

- ◆考慮すべき項目の評価基準等
- ◆グラフ等によりできる限り「見える化」
- ◆重要性や地域特性（中山間地域や市街地の特性など）

【経済・財政再生アクション・プログラム2016より抜粋】
 固定資産台帳の整備に合わせて、有形固定資産減価償却率や一人当たりの維持管理に要する経費等について、経年比較や類似団体比較を実施した上で、グラフを用いて図示するとともに、各団体の分析コメントを付して公表するなど、引き続き公共施設等に関する情報の「見える化」を徹底する。
 また、各団体の総合管理計画の主たる記載項目の公表について、新たに計画を策定する全ての団体分が横比較できるよう引き続き取り組むとともに、策定済み団体分についても計画の改訂の状況を反映するなど更なる「見える化」の充実を図る。



- ◆施設毎の老朽化度や利用度、必要性、地域での役割等を総合的に判断



- ◇庁内統一的な考え方を整理するため、フローチャートを作成できないか検討
- ◆検討にあたっては、施設管理の経験を有する職員を集めて内容を議論することも検討する

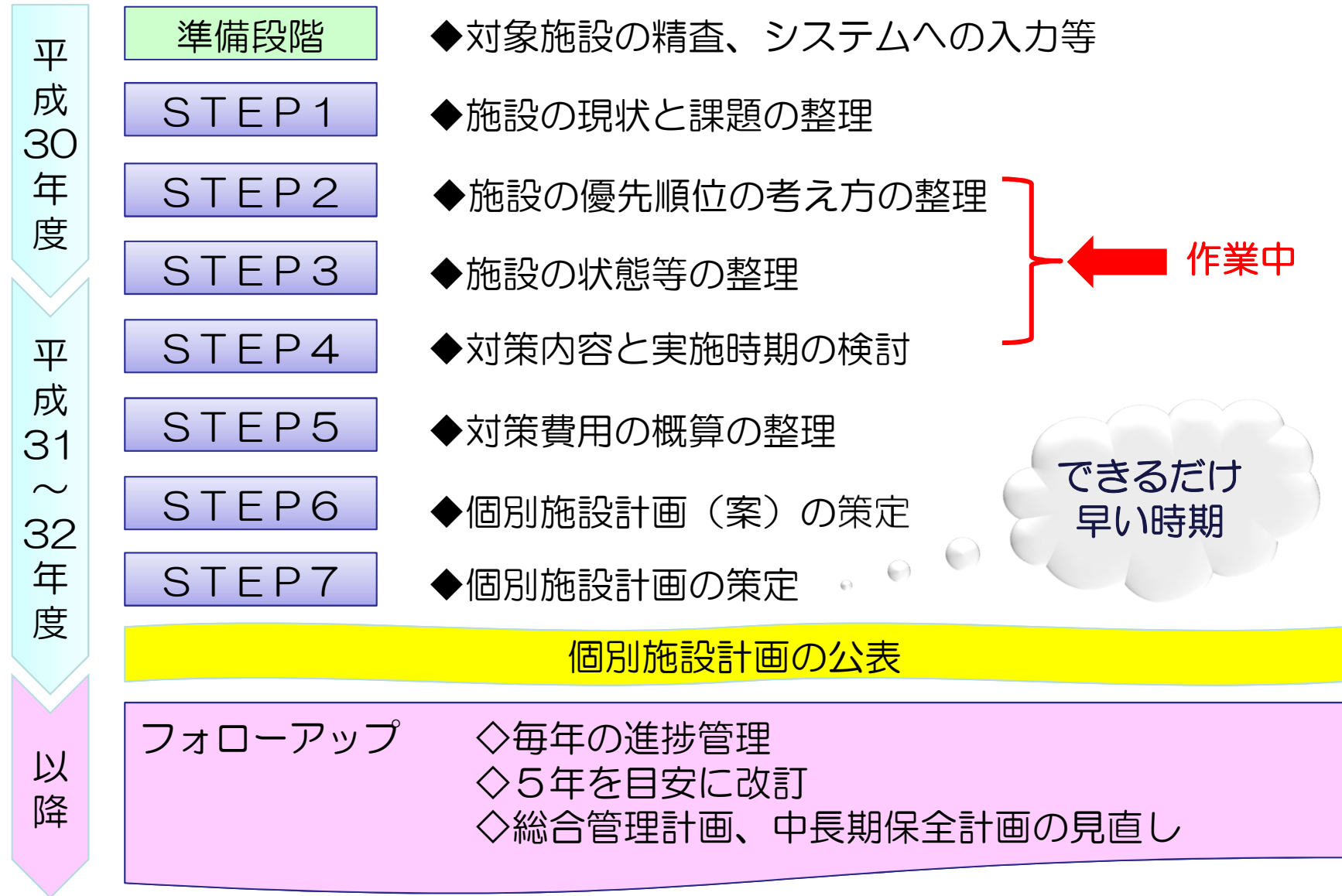
4-3 本市個別施設計画(建築物)策定方針の概要(3)

- ④個別施設の
状態等
 - ◆経過年数や点検・診断による施設の状態を把握、評価
※公共施設マネジメント推進課が3年サイクルで
建築基準法第12条点検を実施予定
 - ◆利用者数や稼働率の推移や、今後の見込を分析、評価
 - ◆劣化度・利用度を見える化(マトリクスなど)
 - ◆重要性や地域特性などを施設毎に整理

- ⑤対策内容と
実施時期
 - ◆個別施設の状態等により対策、方針を決定
 - ・保全、長寿命化
 - ・複合化、集約化
 - ・転用
 - ・廃止(譲渡、除却)
 - ◆対策の実施時期を決定

- ⑥対策費用
 - ◆施設の規模、配置の考え方検討
 - ◆今後、計画期間内の概算費用を整理
※当面維持の場合も、毎年の維持管理コストを計上する

5-1 個別施設計画(建築物)策定スケジュール



5-2 STEP1 施設の現状と課題の整理① 「策定単位の整理」

| 大分類 | 中分類 = 策定単位 |
|-----------|---|
| 学校教育施設 | ①小学校、②中学校、③高等学校、④学校給食センター、⑤その他施設（学校教育）、⑥その他施設（社会教育） |
| 生涯学習・文化施設 | ①公民館、②集会所、③市民文化・コンベンション施設、④図書館、⑤博物館等、⑥その他施設（生涯学習・文化） |
| 観光・レジャー施設 | ①温泉保養・宿泊施設、②スキー場、キャンプ場、③その他施設（観光・レジャー） |
| 産業振興施設 | ①産業振興施設 |
| 体育施設 | ①体育館・屋内運動場、②運動場・マレットゴルフ場、③大規模運動施設等、④市民プール※、⑤テニスコート、⑥その他施設（体育施設） |
| 保健福祉施設 | ①老人憩の家、②高齢者福祉施設、③障害福祉施設、④保健センター等、⑤保育所・認定こども園、⑥児童館・児童センター、⑦その他子育て支援施設、⑧その他施設（保健福祉） |
| 医療施設 | ①病院・診療所 |
| 行政施設 | ①本庁舎、②支所、③消防庁舎等、④教職員・職員住宅、⑤公文書館、⑥その他施設（行政施設） |
| 市営住宅等 | ①市営住宅・その他住宅 |
| その他施設 | ①駐車場、②地域情報通信施設、③交通、④その他施設（その他） |

※体育施設の④市民プール編については、平成31年1月にパブコメ実施済み

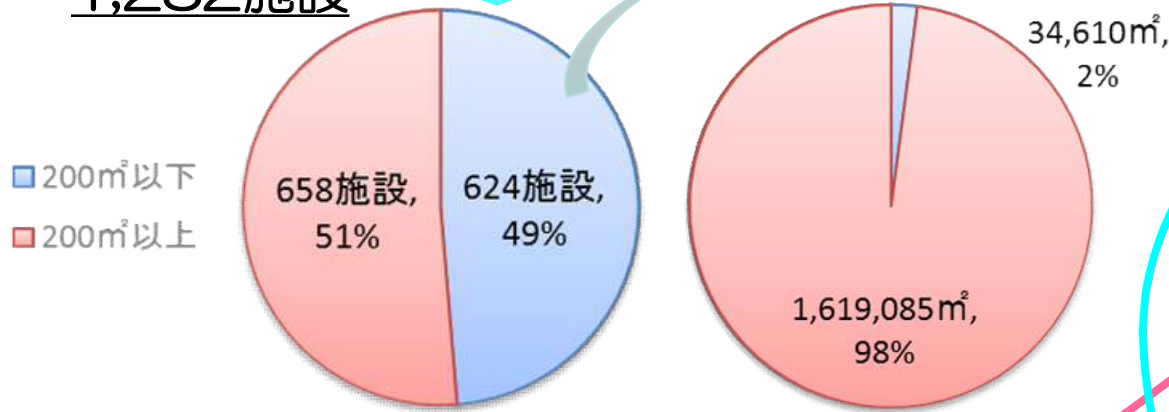
5-3 STEP1 施設の現状と課題の整理② 「対象施設の整理」 10

【全施設数】 **1,379施設** = システムの登録施設数 (平成30年11月現在)

※一部施設は分けて登録 例) 市営住宅、もんぜんぱら座 (普通財産、行政財産) など

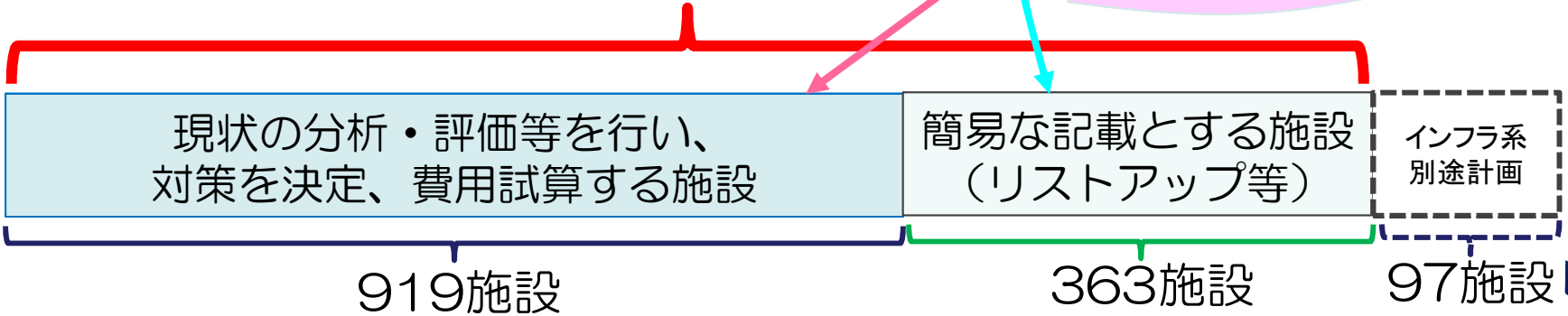
インフラ系97施設は別途計画策定のため除く

1,282施設



小規模な施設は、将来負担の費用の見込みが極めて少ないことから、200m²以下は原則として異なる取り扱いとする。

ただし、市民利用がある施設等は、市民生活への影響があるため対象とする。
※児童館、支所、分団詰所など



- ◆ 長野市土地改良施設インフラ長寿命化計画
- ◆ 下水道ストックマネジメント計画
- ◆ 長野市公園施設長寿命化計画

5-4 STEP1 施設の現状と課題の整理③

「情報管理・共有」

11

公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針（抜粋）

（2）全庁的な取組体制の構築及び情報管理・共有方策

公共施設等の管理については、現状、施設類型（道路、学校等）ごとに各部局において管理され、必ずしも公共施設等の管理に関する情報が全庁的に共有されていないことに鑑み、総合的かつ計画的に管理することができるよう、全庁的な取組体制について記載すること。なお、情報の洗い出しの段階から、公共施設等の情報を管理・集約するとともに、個別施設計画の策定の進捗を管理し、総合管理計画の進捗状況の評価等を集約する部署を定めるほか、部局横断的な施設の適正管理に係る取組を検討する場を設けるなど、全庁的な体制を構築し取り組むことが望ましいこと。

【施設情報の確認、修正】

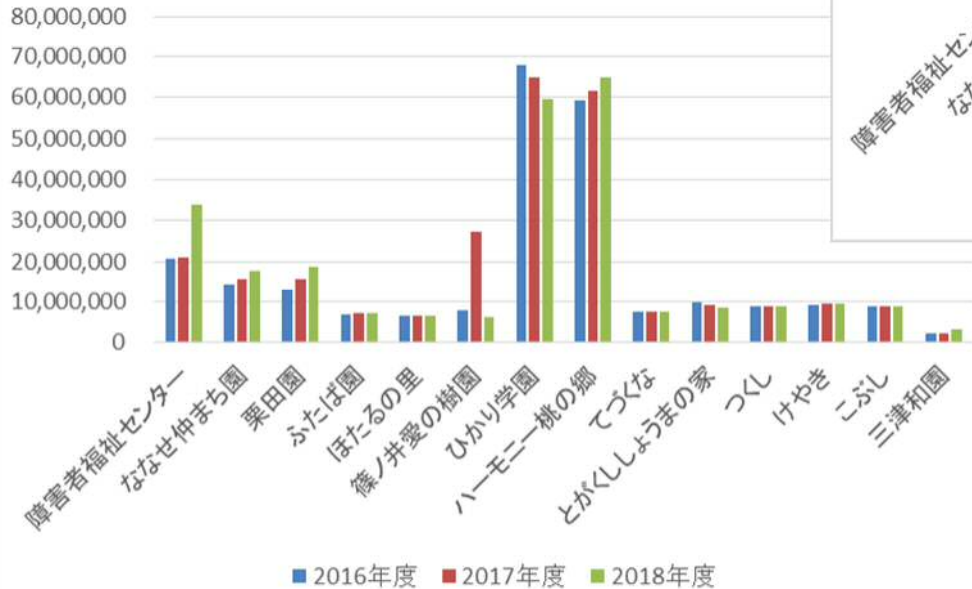
| 施設情報 | 概要 |
|-------------|-------------------------|
| コストの状況 | 人件費、管理費、修繕費、指定管理料、歳入など |
| 利用の状況 | 利用者数、児童・生徒数、証明書等交付件数など |
| 基本情報 | 設置根拠、設置目的、施設概要、土砂災害区域など |
| 棟情報 | 棟ごとの情報確認（建築年月日、面積、構造など） |
| 特記事項（現状と課題） | 施設毎の現状と課題の整理 |

5-5 STEP1 施設の現状と課題の整理④

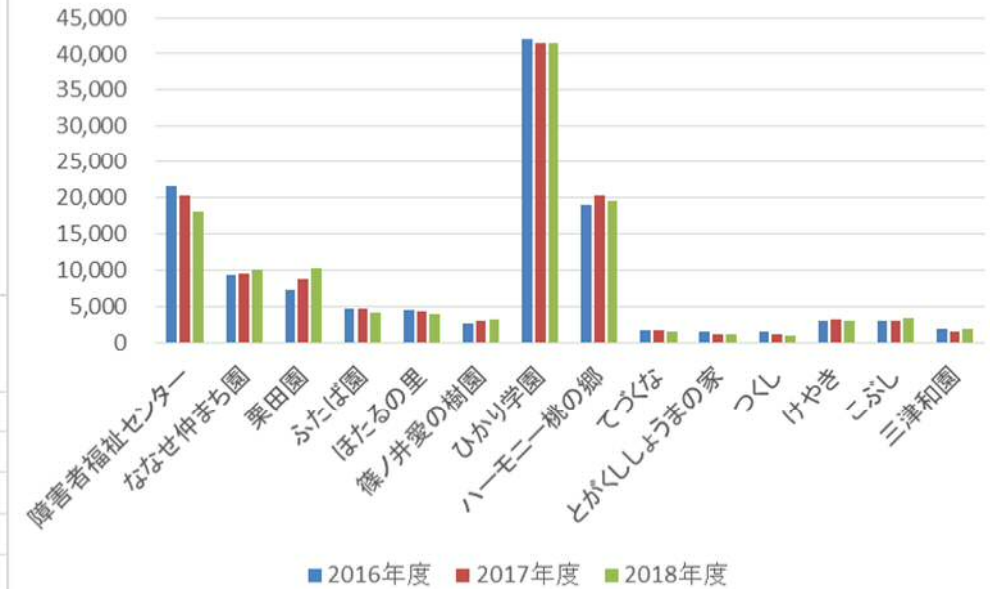
【施設情報の確認、修正】

大分類／保健福祉施設
中分類／障害福祉施設
のグラフィメージ

コストの状況(円)



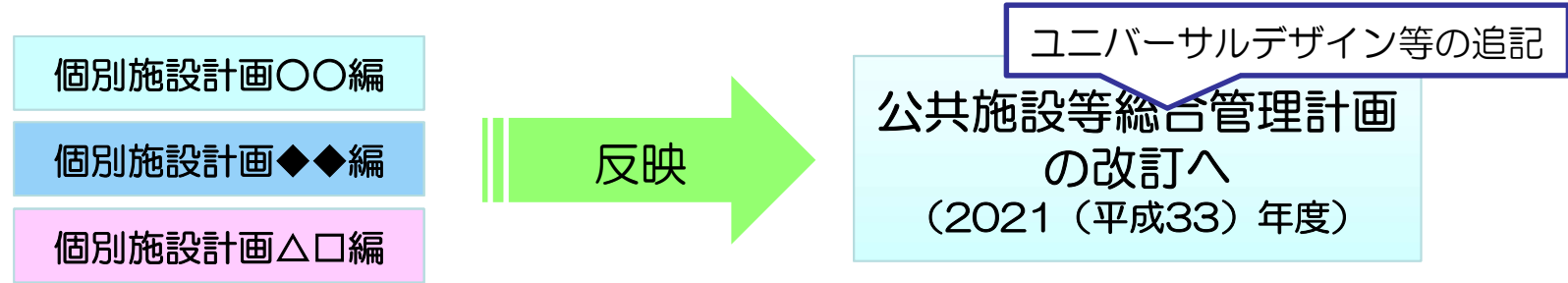
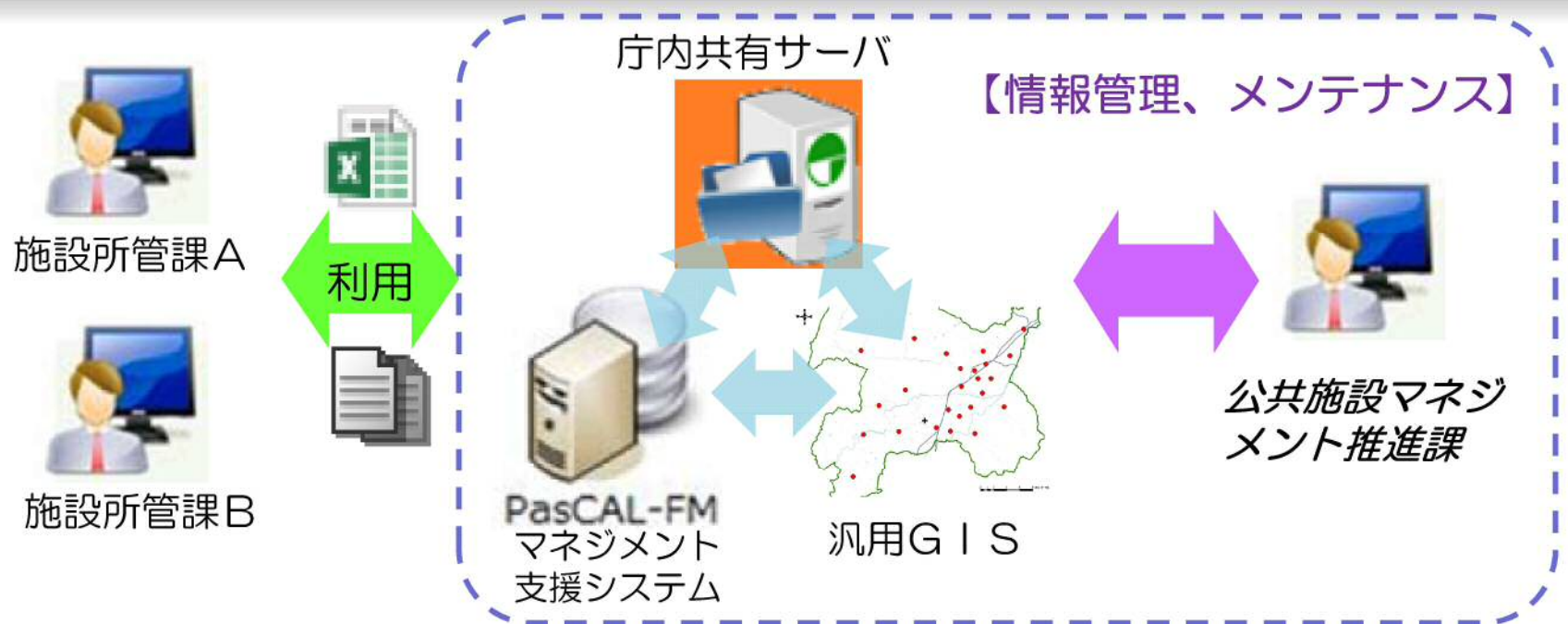
利用の状況 (人)



利用者一人当たりのコスト



5-6 STEP1 施設の現状と課題の整理⑤ 「情報管理・共有」 13



全体を把握 ⇒ 個別施設計画の策定の進捗を管理
総合管理計画に沿った内容（目標を見据える）

5-7 STEP2 対策の優先順位の考え方の整理

個別施設の方向性や対策を決めるに当たり、総合管理計画の施設分類ごとの方向性を踏まえるとともに、施設毎の利用度や老朽化度、必要性、地域での役割等を総合的に判断し、対策の優先順位を決めることなどについて記載します。

(1) 学校教育施設

※総合管理計画：小中学校の例

■ 再編・再配置の方向性

| ◎取組項目 1 | ◎取組内容 |
|------------|---|
| 小学校・中学校の再編 | <p>「学校長寿命化計画」（計画期間平成 32～41 年度）を平成 31 年度までに策定し、老朽化対策を進める。</p> <p>小規模校・過小規模校は「長野市活力ある学校づくり検討委員会」（平成 28～29 年度(予定)）の検討結果を踏まえ「学校長寿命化計画」に反映する。</p> <p>少子化に対応した適正規模・配置等の見直しを進め、個別施設の整備計画を作成する際には、施設規模の適正化や周辺施設との複合化などを図り、総量縮減に努める。</p> |

客観的なデータによる評価

必要性（義務的、公益的等）

地域事情、建設経過等

市民ワークショップの意見

立地、エリア

など

**総合的な判断
が必要**

5-8 STEP3以降

STEP3 施設の状態等の整理

点検・診断によって得られた個別施設の状態について、施設毎に整理する。なお、点検・診断を未実施の施設については、点検実施時期を明記する。 ※H30～32で12条点検実施
上記以外の事項について、必要な情報を整理する。

STEP4 対策内容と実施時期の検討

「STEP2 対策の優先順位の考え方」及び「STEP3 個別施設の状態等」を踏まえ、機能転換・用途変更、複合化・集約化、廃止・撤去、耐震化等の必要な対策や実施時期を施設毎に整理する。

STEP5 対策費用の概算の整理

計画期間内に要する対策費用の概算を整理する。
また、単純更新した場合の（見直しを行わなかった場合の）経費見込みと、対策を講じた場合の経費見込の差額を効果額として示す。



個別施設計画策定へ

6 個別施設計画(建築物)の構成(案)

平成30年10月時点

公共施設個別施設計画(〇〇編) 目次

1 公共施設マネジメントの推進※

(1) 計画の目的等 (2) 本市の現状と課題

※1・5・9は、全編共通記載事項

2 対象施設一覧 [小規模施設は簡易記載]

3 計画期間

4 施設の現状と課題

(1) 設置目的 (2) 根拠法令等 (3) 老朽化の状況 (4) 利用状況
(5) 維持管理コストの状況 (6) 改修・更新費用推計 [中長期規保全計画より]
(7) これまでの施設配置や規模の基準等 (8) 課題

5 対策の優先順位の考え方※

(1) 定量的な評価 ア.建物の状態(劣化度) イ.利用度 ウ.維持管理コストの状況
(2) 定性的な評価 ア.サービスの必要性 イ.地域特性 ウ.地元要望等

6 個別施設の状態、評価等

(1) 施設の状態(定量的評価) ア.建物の状態(劣化度) [12条点検結果より]
イ.利用度 ウ.維持管理コストの状況
(2) その他検討すべき事項(定性的評価) ア.サービスの必要性 イ.地域特性
ウ.地元要望等

7 個別施設の対策と実施時期

(1) 適正規模・適正配置の考え方 (2) 個別の施設の考え方 (3) 小規模施設の方向性

8 対策費用

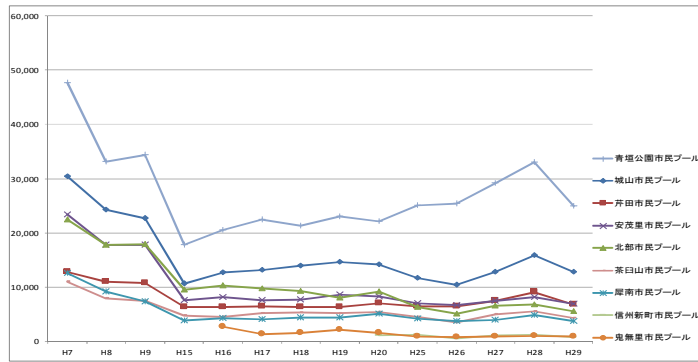
(1) 今後の対策に要する概算費用 (2) 対策を実施した場合のコスト効果

9 マネジメントの更なる推進に向けて※

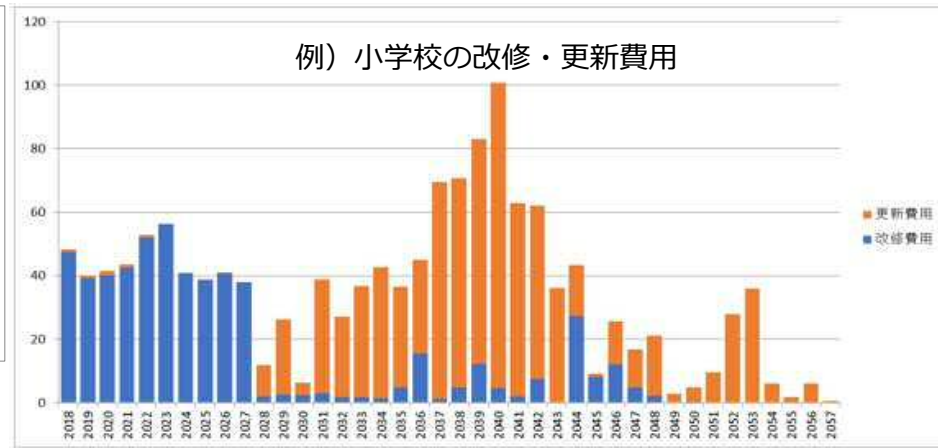
7-1 計画の記載内容・イメージ(1)

施設の現状と課題

- ◆設置目的、根拠法令等
- ◆老朽化の状況、利用状況、コストの状況、今後の改修・更新費用など、施設の情報を「見える化」します。



例) 市民プール利用者数



例) 小学校の改修・更新費用

優先順位の考え方

- ◆検討に当たっての考え方、考慮すべき内容を明記
 - ・施設の状態、役割、老朽化度、利用度、コスト、重要性、代替性、地域特性、ワークショップの意見 など
- ◆分析、評価の基準等

| 経過年数 (カッコ内は新耐震基準※) | 評価A | 点検・診断の点数 | 評価B |
|--------------------|-----|----------|-----|
| ⑤10年未満 (15年未満) | 5 | 81~100点 | 5 |
| ④10年以上 (15年以上) | 4 | 61~80点 | 4 |
| ③20年以上 (30年以上) | 3 | 41~60点 | 3 |
| ②30年以上 (45年以上) | 2 | 21~40点 | 2 |
| ①40年以上 (60年以上) | 1 | 0~20点 | 1 |

7-2 計画の記載内容・イメージ(2)

個別施設の 状態等

◆優先順位の考え方で示した項目について整理、分析、評価を行う。

| No | 施設名 | 建築年 | 残年数 | 評価 | 点検・診断結果 | 評価 | 合計 |
|----|------|------|-----|----|---------|----|----|
| 1 | 施設 D | *年*月 | 4 | 5 | 33点 | 4 | 9 |
| 2 | 施設 B | *年*月 | 7 | 5 | 59点 | 3 | 8 |
| 3 | 施設 A | *年*月 | 12 | 4 | 41点 | 3 | 7 |
| 4 | 施設 F | *年*月 | 21 | 3 | 77点 | 2 | 5 |
| 5 | 施設 H | *年*月 | 32 | 2 | 79点 | 2 | 4 |

例) 老朽化度の評価

| No. | 施設名 | 老朽化度 | | | 利用度 | | |
|-----|-----|------|----|----|------|-----|----|
| | | 築年数 | 目視 | 合計 | 利用者数 | 稼働率 | 合計 |
| 1 | A | 3 | 4 | 7 | 5 | 4 | 9 |
| 2 | B | 1 | 2 | 3 | 3 | 5 | 8 |
| 3 | C | 4 | 5 | 9 | 3 | 2 | 5 |
| 4 | D | 2 | 1 | 3 | 1 | 1 | 2 |
| 5 | E | 5 | 4 | 9 | 3 | 4 | 7 |



| | H27 | H28 | H29 | 平均 | 水面積 | 1㎡当たり 利用人数 | 評価 |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|---------------|----|
| 青垣 | 29,152 | 32,989 | 24,917 | 29,019 | 1,233㎡ | 24人 | A |
| 城山 | 12,808 | 15,862 | 12,866 | 13,845 | 1,449㎡ | 10人 | C |
| 芹田 | 7,543 | 9,123 | 6,869 | 7,845 | 862㎡ | 9人 | D |
| 安茂里 | 7,549 | 8,176 | 6,980 | 7,568 | 855㎡ | 9人 | D |
| 北部 | 6,586 | 6,872 | 5,538 | 6,332 | 878㎡ | 7人 | D |
| 茶白山 | 4,973 | 5,612 | 4,280 | 4,955 | 927㎡ | 5人 | D |
| 犀南 | 3,940 | 4,863 | 3,728 | 4,177 | 863㎡ | 5人 | D |
| 信州新町 | 1,099 | 1,260 | 869 | 1,076 | 487㎡ | 2人 | E |
| 鬼無里 | 872 | 1,070 | 896 | 946 | 385㎡ | 2人 | E |
| 計 | 74,522 | 85,827 | 66,943 | 75,764 | 7,939㎡ | | |

例) 利用度の評価

市街地や中山間地域の特性など地域特性等については、数値化できないため、それぞれの内容を施設毎に記載する。

| 施設名 | 地域特性 |
|-----|------|
| 施設E | |
| 施設X | |
| 施設Y | |

7-3 計画の記載内容・イメージ(3)

個別施設の対策 と実施時期

- ◆○○施設における、適正規模、適正配置の考え方
 - ・標準的な施設規模（必要な機能、面積等）
 - ・具体的な配置目標
- ◆個別の施設の方向性

【他市の事例】

| | | | | |
|---|-------------|------------------|-----|--------------|
| 1 | 施設名 | 浜名湖れんが館 | 所管課 | 商工観光課 |
| | 敷地面積 | 540㎡ | 建築年 | 平成17年（明治37年） |
| | 延床面積 | 199㎡ | | |
| | 再配置の 方向性 | 転用・譲渡 | | |
| | 実施時期 | 第1期（2017年～2020年） | | |

《個別施設方針》

| No | 施設名称 | 利用 圏域 | 施設 所管課 | 現状分析 | | 評価 | 検討の方向性 | 検討開始 年度 | 備考 (住民説明会時 から変更になった ものは、青字で理由 を記載) |
|----|----------------|----------|-----------|--------|------------------|---------------|---|------------|--|
| | | | | 建 物 | サ ー ビ ス | | | | |
| 1 | 片平ふれあい センター | 片平 | 総務法務 課 | I | I | C：集約 化・複合化 | 既に他施設と複合化して いるが、本施設又は近隣施 設の改修・建替時期にさら なる複合化を再検討する。 | 次期計画 | (近隣公共施設の 検討開始時期に合 わせ検討) |
| 2 | 河内ふれあい センター | 逢瀬 | 総務法務 課 | I | II | C：集約 化・複合化 | 既に他施設と複合化して いるが、本施設又は近隣施 設の改修・建替時期にさら なる複合化を再検討する。 | 次期計画 | (近隣公共施設の 検討開始時期に合 わせ検討) |

7-4 計画の記載内容・イメージ(4)

対策費用

◆対策後の概算費用を推計

既存施設を耐用年数経過時に単純更新した場合の（自然体の）経費見込み
※「4 施設の現状と課題」

| 施設名 | 2019~2023 | 2024~2028 | 合計 |
|-----|-----------|-----------|---------|
| 施設A | 80,000 | | 80,000 |
| 施設B | | 150,000 | 150,000 |
| 施設C | | 35,000 | 35,000 |
| 施設D | 250,000 | | 250,000 |
| 合計 | 330,000 | 185,000 | 515,000 |

複合化、集約化などの対策を実施した場合の経費見込み

(単位：千円)

| 施設名 | 対策 | 2019~2023 | 2024~2028 | 合計 |
|-----|---------------|-----------|-----------|---------|
| 施設A | 改修 (2021) | 45,000 | | 4,5000 |
| 施設B | 複合化 (2028) | | 110,000 | 110,000 |
| 施設C | 当面維持 (検討中) | | 3,5000 | 3,5000 |
| 施設D | 廃止 (2020) | 15,000 | | 1,5000 |
| 合計 | | 60,000 | 145,000 | 205,000 |

※今後の改修費用、更新費用、解体費用の見込み額。

◆対策の効果額を示す

総合管理計画にも反映

8-1 インフラ個別施設計画策定状況①

- 道路橋りょう(市道)

| 対象施設 | 計画名称 | 計画期間(策定期期) | 担当課 |
|-------------------------------|-----------------------------------|---|-----|
| 舗装 (幹線道路及び重要 路線227路線) | 舗装長寿命化修繕計画 | 第一期 H27～30年度(H27年3月) | 維持課 |
| 横断歩道橋 (11橋) | 公共施設等総合管理計画 (横断歩道橋修繕事業) | H26～30年度(H26年8月) | 維持課 |
| トンネル (3カ所) | 公共施設等総合管理計画 (トンネル修繕事業) | 第二期工事 H31～35年度(H31年3月) | 維持課 |
| 大型カルバート (8カ所) シェッド(5カ所) | 公共施設等総合管理計画 (大型カルバート・シェッド修繕事業) | H31～35年度 (大型カルバートH30年9月 シェッドH31年9月) | 維持課 |
| 門型標識 (14カ所) | 公共施設等総合管理計画 (門型標識修繕事業) | H26～30年度(H26年8月) | 維持課 |
| 橋りょう (橋長2m以上: 1738カ所) | 長野市橋りょう長寿命化修繕計画 | 第一期 H26～30年度(H25年3月) | 維持課 |

8-2 インフラ個別施設計画策定状況②

- 上下水道

| 対象施設 | 計画名称 | 計画期間(策定期期) | 担当課 |
|---|--------------------------------------|--|--------|
| 水道管(2454km) 水源(57カ所) 浄水場(19カ所) 配水池(256カ所) ポンプ場(126カ所) | 長野市水道施設整備計画 (長野地区、その他の地区、旧簡水道5地区) | H29～78年 (長野地区:H29年3月 その他地区:H31年3月 旧簡水:H32年3月策定予定) | 水道整備課 |
| 下水道管渠 中央処理分区(17km) 末広・西部処理分区 (50km) | 下水道ストックマネジメント計画 | 中央:H30～32年度(H30年1月) 末広・西部:H33～44年度(H30年1月) | 下水道整備課 |
| 終末処理場等(5カ所) マンホールポンプ場 (公共120、特環41カ所) | 下水道ストックマネジメント計画 | 第一期H30～34年度(H30年1月) | 下水道施設課 |
| 東部終末処理場 | 長野市東部終末処理場長寿命化計画 | 第一期H24～29年度(H24年6月) 第二期H26～30年度(H26年3月) | 下水道施設課 |
| 安茂里ポンプ場 戸隠高原浄化センター | 長野市安茂里ポンプ場・戸隠高原浄化センター長寿命化計画 | 第一期H27～31年度(H27年3月) | 下水道施設課 |

8-3 インフラ個別施設計画策定状況③

- 河川、土地改良施設(農道)、公園

| 対象施設 | 計画名称 | 計画期間(策定期期) | 担当課 |
|---|--|-----------------------|---------|
| 雨水ポンプ場(13カ所) 排水機場(18カ所) | 下水道ストックマネジメント計画 | H32～38年度(H32年10月策定予定) | 河川課 |
| 水路(受益20ha以上: 284.8km) 頭首工(受益20ha以上: 17カ所) ため池(187カ所) 排水機場(24カ所) 農道(全幅4m以上: 10.2km) 橋りょう(橋長15m以上・全幅1.8m以上: 12カ所) 農集排処理施設(22カ所) | 長野市土地改良施設インフラ長寿命化計画(行動計画) (当計画に基づき、平成32年度末までに個別施設計画を策定予定) | H29～32年度(H29年3月) | 森林農地整備課 |
| 都市公園(189カ所) 園路広場、修景施設、 休養施設、遊戯施設、 運動施設、教養施設、 便益施設、管理施設、 災害応急施設 | 長野市公園施設長寿命化計画 | H26～36年度(H27年3月) | 公園緑地課 |